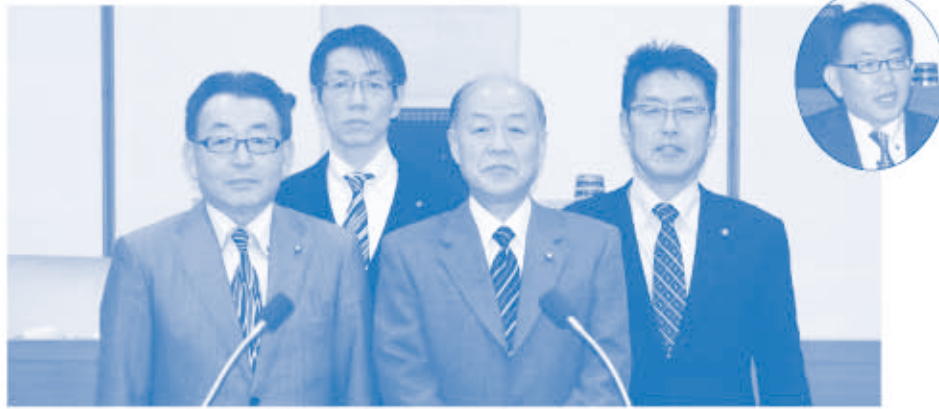


市長の施政方針に 関して

津山新星会議

代表質問者 竹内邦彦



竹内(邦) 近藤 吉田 小椋

質問↓津山市の財産・地域ブランドとは何か。

答弁↓これまで育まれた歴史・文化をはじめ、自然豊かな環境や観光資源、先人から受け継いだ多くの貴重な資産があり、都市としての魅力に恵まれている。それらを有効に活用し、津山市の未来に向けて発展させていくことが、行政の施策であり役割だと思っている。

質問↓企業立地に関わる岡山県の助成制度の拡充についての見解は。

答弁↓今回の県の補助制度の拡充により、県営の団地と市町村営団地との補助率の差が広がることから、当市の企業誘致活動に大きな影響を与えるものと懸念し、県に対して市町村営団地にも拡充要望を行っている。

質問↓教育長の津山市教育に対する所信を述べていただきたい。

答弁↓津山を担う人づくりに邁進してまいりたいと考えている。津山市の教育は、学力、生徒指

導など、課題が山積みしている現状を受けとめた上で、将来を担う子供達が、豊かな人間性を

持つて、人とのつながりを大切に
する力を養うための教育を
実現したいと考えている。

質問↓学力目標値の設定と競争原理の導入をどう思うか。

答弁↓平均正答率の値は年度によって変動するので「県の平均を上回る」を目標にする。数値競争は、過度の競争意識をおおることにならないように行う。

質問↓心のノートの活用はどうか。

答弁↓平成25年度の入学生からは、一人一冊が支給される。子供達の規範意識や豊かな人間性を育てていくために、各学校に道徳教育推進の中心的な役割を担う道徳推進教師を置き、道徳教育の一層の充実を図る。

質問↓スポーツセンター野球場の整備とサッカー場の人工芝生化について。

答弁↓野球場はブルベンの安全対策、スコアボードの移設とパツ

クスクリーンの改善、本部席の改修と拡充などの要望をいただいている。人工芝生化については、事業化に向けて検討していく。

質問↓観光施策としての具体的な取り組みはどのようなものがあるのか。

答弁↓津山市観光協会のホームページを全面リニューアルする予定である。観光マップ、メッセージ性の強い情報映像の制作、関西地区・中四国地区のエージェントの訪問等がある。

質問↓総社川崎線・光港津山道路・河辺高野山西線の進捗状況は。

答弁↓総社川崎線は、山北工区の用地買収率約30%、沼林田工区約55%で、平成28年度の供用開始を目指している。空港津山道路は現在、平福地内から打穴中地内に至る延長54kmの用地買収を行っており、買収率約60%である。河辺高野山西線は現在、南工区延長660mを県において事業中であり、平成30年度供用開始を目指している。